

出発 Departures

SECOM

SECOM  
特別警備

特別警備  
SPECIAL SECURITY

2016年  
12月

株主通信 セコム株式会社

第56期中間報告書 [2016年4月1日から  
2016年9月30日まで]

## 社員満足を原点とした 「しなやかで強い経営」で持続的成長を目指す

経営方針、「G7 伊勢志摩サミット」で高評価を受けた最新警備システム、新たな取り組みについて、社長の中山泰男からご説明させていただきます。

経営方針の中で「社員満足を原点」と考える理由、  
「しなやかで強い経営」に込めた想いについて

しっかりとした経営理念のもとでも、その中で働く社員一人ひとりの満足度によって、パフォーマンスには大きな差が生じます。

一人ひとりが、モチベーション高く、それぞれの“想い”を実現するために能動的に挑戦するからこそ、質の高いサービス、さらにはお客様の期待を超えるサービスをお届けすることができ、それが社会からの信頼につながると考えてい

### 中山 泰男

セコム株式会社 代表取締役社長



ます。

そうすれば、「セコムはいい仕事をしているね」と評価が高まり、社員も一層やりがいを感じるという「正の循環」を生み出します。こう考え「社員満足を原点」としました。

また、変化の激しい、先の読めない現代においては、変化を脅威として捉えるのではなく、変化を受け入れ、機会に変えていく柔軟性と復元力が重要になってきます。

こう考え「しなやかで強い経営」を掲げ、まずは組織の活力向上、多様性推進、つながり強化のための具体的な施策を打っています。

## 「G7伊勢志摩サミット」などの大規模イベントでセコムの最新システムが高く評価されたことについて

三重県警察本部様が、「セコム飛行船」による上空からの監視のほか、日本初の高精度な3次元立体地図による警備計画立案システム「セコム3Dセキュリティプランニング」を活用されるなど、サミットの安全な開催に貢献しました。また、不審ドローンの会場への接近を監視する「セコム・ドローン検知システム」や「セコム飛行船」を小型化した「セコム気球」などのシステムは、その後開催された関係閣僚会合の「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」「G7長野県・軽井沢交通大臣会合」などでも使用され、その有効性が実証されました。

今後も重要な国際会議や大規模イベント会場はもとより広域・立体的なセキュリティ対策として、より一層貢献できるようにしていきたいと考えています。

## 新しいサービスやシステムの創出スピードを速めるための「オープンイノベーション」について

変化のスピードが速く、解決しなければならない新たな社会課題も増加していく現代にあっては、自前の経営資源・技術だけでは迅速な対応ができなくなってしまいます。そこで、「オープンイノベーション」という戦略を打ち出し、社会を「安全・安心・快適・便利」にしていきたいというセコムの志に共感していただける企業や研究者の方々に、「セコムの強みと皆さまが持つアイデア・技術を掛け合わせて、社会を革新する新しいサービスやシステムを一緒に創りましょう」と呼びかけました。

以来、この半年で100社以上の企業の方々と面談し、すでにその中の数社と事業化について話を進めています。セコ

ムの組織のみならず、社会にしなやかで強い価値を創出していくためには、こうした社外との連携が不可欠だと考えています。

## 東京・渋谷区と締結した「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定」について

セコムは原宿に本社を構える企業として、民間のアイデアを導入して防災対策などの地域社会の課題解決をしたいという渋谷区の熱い想いをともに実現するために、パートナー協定を締結しました。早速、その実施第一弾として、代々木公園で開催された「SHIBUYA BOUSAI FES 2016」に特別協賛しました。

まずは、渋谷区に暮らす人、働く人、遊びに来る人たちにとって「安全・安心」な街になるよう防災面で協力し、将来的には「超高齢社会」から生じる問題など幅広い範囲で課題を共有し、解決に向けて協力していきます。

地方自治体との間でこうした協定を結ぶのは初めてのことで、こうした社会との対話を深める公民連携の新しい試みでも成果を上げていきたいと考えています。

## 最後に、株主の皆様へ

セコムは、しなやかで強靱な組織運営のもと、“ALL SECOM”で社会の課題を解決し、社会価値と企業価値をともに高めながら持続的な成長を目指してまいります。

これからもセコムの事業活動に注目していただき、叱咤激励・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 「G7伊勢志摩サミット」と関係閣僚会合において セコムの最新セキュリティシステムが活躍

今年5月に開催された「G7伊勢志摩サミット」および、それに付随して開催された関係閣僚会合のうち、「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」、「G7長野県・軽井沢交通大臣会合」において、セコムの各種最新セキュリティシステムが採用され、安全な運営に貢献しました。

まず、5月に開催された「G7伊勢志摩サミット」では、開催前の2日間、三重県志摩市で、係留型「セコム飛行船」を飛行させ、不審者・不審船などの監視を行いました。

同じく5月の「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」では、「セコム気球」を初めて実運用し、会場上空に係留。そのほか「セコム・ドローン検知システム」、会場周辺の監視カメラの無線ネットワーク化、巡回警備員へのウェアラブルカメラ装着、巡回警備員が搭乗型移動支援ロボット「セグウェイ」で会場周辺を走行する実証実験も実施しました。

9月開催の「G7長野県・軽井沢交通大臣会合」では「セコム気球」と「セコム・ドローン検知システム」を採用いただきました。

セコムは、2020年に向け、ますます増加する国際会議やスポーツ競技大会、大規模なイベントなどの安全な運営に、一層貢献できるように努めていきます。



「セコム飛行船」が「G7伊勢志摩サミット」会場周辺の警戒を行った



「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」で採用された「セコムドローン検知システム」

## 日本初、高精度で正確な立体画像を警備計画立案に利用 「セコム3Dセキュリティプランニング」を提供開始

セコムは、高精度な3次元立体地図によるセキュリティプランニングシステム「セコム3Dセキュリティプランニング」を開発し、9月から提供を開始しました。



「セコム3Dセキュリティプランニング」のシミュレーション画面

これに先立ち、5月に開催された「G7伊勢志摩サミット」において三重県警察本部様が警備計画立案に本システムを活用し、その有効性が実証されました。

本システムは、基盤技術の研究を行うセコムIS研究所のBIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)技術と、セコムグループの航空測量最大手の(株)パスコの空間情報技術を融合して開発したものです。

「セコム3Dセキュリティプランニング」は、3次元地図の上空・地上のあらゆる角度から視点を変え、モニター上で目視できます。VIPの車列の想定ルートに沿って視線を移動できるほか、警備員の配置場所の周囲の確認、監視カメラや警備用の飛行船、ドローンからどのように見えるかも確認することができます。

本システムにより、警備計画の立案が大幅に効率化できるとともに、多面的・立体的なリスク分析により高度なセキュリティプランニングが可能となります。

多くの観客が集まる大規模なスポーツ競技大会やイベントでの活用のほか、高次元のセキュリティニーズがある国・地方自治体など関係機関に提供し、安全な社会の実現に貢献していきます。

## セコムと渋谷区が地域社会の防災対策などで協力「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定」締結

セコムは8月、渋谷区と「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定」を締結しました。

本協定は、渋谷区が民間企業の優れたアイディアを導入して、地域

社会の課題解決を推進するためにスタートした公民連携の新しいマーケティングプログラムです。

協定では、安全かつ防災に強い都市づくり、超高齢社会に向けた健康増進、ファシリティマネジメント（セキュリティを含めた総合的な施設管理）、オリンピック・パラリンピックの気運醸成、多様性社会の実現に関する啓発活動、人的交流など広範な範囲を見据えています。

9月には協定の実施第一弾として東京・渋谷区にある代々木公園で開催された「SHIBUYA BOSAI FES 2016」に特別協賛しました。これは「渋谷区総合防災訓練」を、より多くの方に参加してもらうために内容を一新し、フェスという形で開催したものです。セコムもAEDの実演などを含むブースを出展し、地域の防災対策に積極的に取り組んでいる姿勢を多くの方に印象付けることができました。

渋谷区とは今後、幅広い分野で協働し、渋谷で暮らす・働く・遊ぶなど関係するすべてのの方々にとって「安全・安心」、かつ、一層魅力的な渋谷区とするべく取り組んでいきます。



長谷部健渋谷区長(左)と協定書に調印を行った中山泰男社長(右)

## 国際的な環境NGO・CDPが実施した調査でセコムが最高評価「気候変動Aリスト」企業に認定

10月、イギリス・ロンドンに拠点を置く国際的な環境NGOのCDPが実施した気候変動への対応に関する調査において、セコムが最高評価の「気候変動Aリスト」企業に認定されました。

CDPは全世界で5,800以上の企業・団体・都市を対象に気候変動に伴う事業リスクへの認識と対策、CO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みや成果などについての質問票を送付（日本企業では大手500社が対象）し、その回答内容を評価しています。

評価は①情報開示、②認識、③マネージメント、④リーダーシップの4つの観点から総合的に行われ、CDPが調査した内容と評価結果は、世界の機関投資家や格付機関が利用する重要指標の一つとなっています。

セコムは①から④まですべての項目において高得点を獲得し「A」評価を取得。気候変動対応における先進的企業として最高評価である「気候変動Aリスト」に認

定されました。

セコムグループは今後も社員一丸となって環境問題への取り組みを継続し、持続可能な社会の実現を目指すとともに、さらなる企業価値の向上に努めていきます。



世界で193社、国内ではセコムを含めた22社が最高評価「Aリスト」企業に認定

## 「安全・安心」そして「快適・便利」をトータルに提供

### ● セキュリティサービス事業

セコム(株)を中心に、企業・家庭・個人向けのセキュリティサービスを提供しています。

企業向けにはオンライン・セキュリティシステムをはじめ、大規模施設向け安全管理システム、安全商品、常駐警備、現金護送を提供しています。

家庭向けには「セコム・ホームセキュリティ」をはじめ、マンション向けセキュリティシステム、安全商品を提供しています。

また、屋外を移動する人・車・物の位置情報検索機能や緊急通報機能を備え、いざというときは緊急対処員が駆けつける屋外用携帯緊急通報システム「ココセコム」を提供しています。

このほか、9月には「セコム3Dセキュリティプランニング」の提供を開始。3次元立体地図を使い警備計画



立案を大幅に効率化するもので、「G7伊勢志摩サミット」でも有効性

が実証されました。

これからも日々変化する社会の動向を見据えたシステムを開発し、社会に「安全・安心」を提供していきます。

### ● 防災事業

セコムの防災事業を担う能美防災(株)とニッタン(株)では、防災システムの研究、開発、設計、生産、施工、メンテナンスまでを一貫した体制で提供しています。



主にビル、地下街、文化財、プラント、トンネル、船舶、集合住宅などへの防災システムの提供を通じて、お客様の人命と財産を守っています。

両社ともに積極的に新商品を投入することで、さらなる受注拡大を図ります。

### ● メディカルサービス事業

セコム医療システム(株)を中心に、医療、介護、健康・予防の分野でトータルなメディカルサービスを提供して

います。

医療分野では訪問看護と薬剤提供を柱とした在宅医療



サービスやセコムの提携病院・クリニックの運営支援、遠隔画像診断支援サービス、電子カルテなどを提供しています。

介護分野では訪問介護とデイサービスの提供や、シニアレジデンスと介護付有料老人ホームの運営をしています。

健康・予防分野では、会員制健康管理クラブや電話健康相談サービス、予防医療サービス、オリジナル健康食品の販売(「セコムの食」)を行っています。

4月には「セコムケア千歳烏山」をオープン。訪問介護・デイサービスのほか、シニア向けの会員制介護予防・健康サービス「セコム・ウェルネスサービス」を提供し、介護と予防・健康サービスをワンストップで提供しています。

## ● 保険事業

セコム損害保険(株)では、セコムグループならではの保険を開発・販売して



います。ホームセキュリティを導入されている場合に、お住まいの保険料が割引になる「セコム安心マイホーム保険」や、お車の事故現場にセコムの緊急対処員が駆けつける「セコム安心マイカー保険」のほか、ガン治療にかかった治療費の自己負担分を実額補償するガン保険「自由診療保険メディコム」も、その商品性が支持され高い評価を得ています。

今後も万が一の備えとして、独自の商品でお客様により確かな安心を提供できるよう努めていきます。

## ● 地理情報サービス事業

(株)パスコは、航空機や車両、人工衛星、船舶を利用して集積した地理



情報とビッグデータなどを融合し、生産性向上のため

の効率化や迅速な意思決定、危機対応能力の向上などを支援する空間情報サービスを国内外の官公庁や自治体、企業に提供しています。

4月に発生した熊本地震でも航空レーザー計測を実施し、立体地図を作成。流出した土砂量の推定など被災状況の数値化を行い、迅速な復旧・復興活動を支援しました。

これからも空間情報技術を活用して、世界の課題に向けたソリューション提供に努めていきます。

## ● 情報通信事業

セコムグループは、2012年に(株)アット東京がグループ入りし、国内最大クラスのデータセンター事業会社として情報セキュリティ、大規模災害対策、クラウドサービスを柱に事業を展開しています。



セコムトラストシステムズ(株)では、安全なインターネット閲覧を可能にする「セコム・プレミアムネット・リモートブラウザ」を7月に発売。お客様はセコムの仮想ブラウザを使用してイ

ンターネットを閲覧するため、万が一、ウイルス感染やサイバー攻撃に遭った場合でもお客様のパソコンに被害が及ぶことはありません。

今後も社会が抱える不安を解消するサービスの提供に努めていきます。

## ● 不動産・その他の事業

セコムホームライフ(株)は「安全・安心で高品質な住まい」をコンセプトにした「グローリオ」マンションシリーズを販売しています。

セコムならではの最新のセキュリティシステムを専有部と共用部に設置し、さらに防災システムや耐震性にも配慮しています。

また、入居後のお困りごとに24時間365日対応する電話相談サービス「グローリオサポート24」も提供し、暮らしを幅広くバックアップしています。

これからもセコムグループのノウハウを結集し、「安全・安心」なマンションを開発し、提供していきます。



## 大規模イベントや国際会議などで活躍、 上空から見守る「セコム飛行船」

時代や社会の変化を先読みして、社会に必要なサービスを創出するセコムグループ。  
今回は、セキュリティシステムの開発を担うセコム開発センターが生み出した、  
「セコム飛行船」についてご紹介します。



開発センター  
サービスロボット開発グループ  
チーフエンジニア 青木秀行

- 「東京マラソン」や「G7伊勢志摩サミット」といった大規模なイベントで「セコム飛行船」が活用されています。改めてその有用性について教えてください。

「セコム飛行船」の最大のメリットは、上空に浮かぶことで「警戒中」を強力にアピールする「見える警備」と実際の監視を両立させている点です。



上空から広範囲を見守ることができる「セコム飛行船」

現在の「セコム飛行船」は地上と特殊なロープでつないだ係留型となります。上空に長く留まることができる飛行船の特性を生かし、搭載したカメラで地上を長時間監視できます。

広域で全体の様子が把握できるため、混雑状況やトラブルの有無を発見することが可能です。監視しづらい屋上もカバーできます。また、その大きさ（全長約20メートル）から上空に浮かぶと遠くからでも見えるため、「見える警備」の効果も大きいと考えています。

- どのような想いで「セコム飛行船」の開発にあたったかを教えてください。

より早く異常を捉え、的確な対処を行うことができれば、もっと安全な社会になる。この想いを実現するために開発は始まりました。

空から地上を見守る目があれば、より広範囲を、しかも不審者が対象エリアに立ち立った時点から、リアルタイムで状況把握が可能になります。さらに、地上のセコムのセンサーや防犯カメラ、自律飛行する「セコムドローン」から得られる情報などを組み合わせることで、上空と地上から対象エリアを見守り、万一の際は安全のプロが対処する高次元のセキュリティが実現できます。

この想いをもち続け、民間防犯用として日本初のサービスを世に送り出すことができました。

- 今後の取り組みについて教えてください。

今後は災害時の利用も視野に入れていきます。飛行船はヘリウムガスを抜いて畳めばトラックに格納できるので、災害時に現地まで運んで飛ばせる機動性があります。被害状況の把握に活用できるほか、飛行機より低いところを飛ぶのでスピーカーで伝達事項を伝えたり、照明を当てるなど飛行船ならではの「安全・安心・快適・便利」なサービス提供の実現に向け、取り組んでいきたいと思っています。

# 高齢者のあらゆるお困り事に対応し、 ご自宅での暮らしをサポートする「暮らしのパートナー」



セコム暮らしのパートナー久我山  
パートナー 石川慎一郎

セコムでは「セキュリティ」「超高齢社会」「災害・BCP・環境」の3つの社会課題の解決に向け取り組んでいます。今回は「超高齢社会」の課題解決に向け設立した「セコム暮らしのパートナー久我山」の取り組みをご紹介します。

### ● 暮らしのパートナーの役割について 教えてください。

「超高齢社会」の中、本当に必要なサービスを把握するために、地域の生活相談窓口として昨年4月に「セコム暮らしのパートナー久我山」をオープンしました。

約400世帯から1,000件ほどのお困りごとを聞いたところ、「住み慣れた自宅で暮らし続けたいが、ちょっとしたことができなくなり難しくなってきた。いつでも相談できる相手が近くにいれば」との声を多くいただきました。

そういった声を受けて生まれたのが地域限定の会員制サービス「セコム・マイホームコンシェルジュ」です。24時間365日、どんなことでも暮らしのパートナーがご相談を受け付け、ワンストップでご自宅での生活をサポートします。



お客様宅を訪問し、日々お困り事を解決

### ● 業務ではどのようなことを心掛けていますか？

お客様が快適に充実した暮らしを実現できるよう、普

段の生活で気付いていない潜在的なニーズやリスクを見逃さないために、積極的にコミュニケーションを取るようになっています。

例えば、普段から床に物を置いているお客様のお宅では、「つまづいて転倒する」というリスクが潜んでいます。そういった小さなことにも注意して、お客様にご説明した上で整理整頓を図るようになっています。

近くにいるからこそお客様の変化やリスクに気付くことができるので、離れて暮らすご家族にも安心していただくため、適宜ご報告などを行うように心掛けています。

### ● サービス開始から約1年、 どのように手ごたえを感じていますか？

ちょっと困ったと感じた際にご相談に来ていただいたり、お電話をくださったりするお客様が増えてきており、地域の相談窓口として認知いただけてきたと感じています。

お客様からは「こういうサービスを待っていた。頼りにしているよ」と励ましのお言葉をいただくこともあり、サービスに対する期待感を実感しています。

今は地域限定のサービスですが、全国に展開できるサービスとなるよう、スタッフとして、これからもより良いサービスの提供に努めていきたいと思っています。

## タイで高品質なセキュリティサービスを提供 30周年を迎えるにあたり、AEDの販売もスタート

セコムグループは、セキュリティをはじめ、  
防災、メディカル、地理情報サービス事業で海外に展開。  
現在21の国と地域で「安全・安心」を提供しています。



タイセコムセキュリティ(株)の緊急対応員

### 警備業法の制定に伴い社名を変更

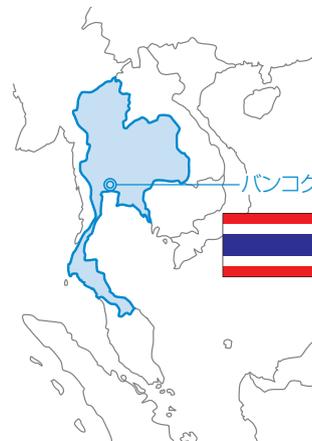
4月、タイセコムピタキイ(株)は、同国で警備業法が新たに制定されることに伴い、「タイセコムセキュリティ(株)」(以下、タイセコム)に社名を変更しました。

タイセコムは1987年にセコムと現地の大手企業グループとの合併で設立され、来年で創立30周年を迎えます。

セコム方式の対処付きオンライン・セキュリティシステムは、はじめは緩やかに浸透していましたが、タイ経済の急速な成長に伴い普及が加速。今やタイナンバーワンのセキュリティ会社に成長しました。

「タイセコムのセキュリティは高品質」という評価を得ており、政府施設などの公共施設や電力会社などの重要施設からのご契約をいただいています。

また、大手の銀行や不動産デベロッパーからのご契約をいただき、業績は順調に伸びています。



### AEDの販売開始に際しCPR講習を実施

タイでは民間人によるAEDの使用が可能になったことから、タイセコムは8月からAEDの本格的な販売を開始しました。

AEDの使用には不可欠なCPR(心肺蘇生法)のスキルアップのため、セコムの担当者がタイセコムを訪れ、現地の社員にAEDとCPRの講習を実施しました。すでに



タイセコムが販売するAED

複数のご契約をいただいております。今後は彼らが核となり、AEDの社会貢献価値をCPRとともに市場に普及させながら拡販していきます。

# Advertisement and Sponsorship

セコムがナンバーワンであることをユーモラスに訴求  
新テレビCM「ヒーローの憂鬱、拠点数No.1」編を放送中



セコムの緊急発進拠点数は業界ナンバーワン

11月から、セコムの新しいテレビCM「ヒーローの憂鬱、拠点数No.1」編の放送を開始しました。

このCMには架空のヒーロー「スーパーグレート」が登場します。そして、「スーパーグレート」のもとに日本中から数多くのSOSが届きますが、一人では同時に対応し切れないことから、出動に二の足を踏んでしまいます。

その一方、セコムは業界ナンバーワンの緊急発進拠点数で、同時に複数の異常が発生してもすぐに駆け付けられることを訴求しています。

ヒーローという存在の「スーパーグレート」より、セコムの方が頼りになることをユーモラスに表現しています。

新CM「ヒーローの憂鬱、拠点数No.1」編は、TBS系列「ぴったんこカン・カン」「ひるおび!」でご覧いただけます。

セコムがホームセキュリティでナンバーワンであることをおもしろく、親しみやすい形でご紹介するこのCMを、ぜひご覧ください。

「2017冬季アジア札幌大会」に協賛決定  
新たに「馬術」「セーリング」も支援

セコムは、2017年に開催される「2017冬季アジア札幌大会」のオフィシャルスポンサー（セキュリティのプランニング及びサービス）になりました。

セコムはこれまでも各種スポーツ大会において警備を担当しており、そのノウハウと品質の高いセキュリティシステムで今大会の「安全・安心」な運営を支援します。

また、セコムはスポーツ競技への貢献という観点から、オリンピック競技である「馬術」「セーリング」のオフィシャルパートナーとして支援しています。

馬術は、人馬一体のパフォーマンスを競うもので、オリンピックでは「障害馬術」「馬場馬術」「総合馬術」の3種目が採用されています。

「セーリング」はヨットやウインドサーフィンを操り、海面に設置されたブイを決められた順序で決められた回数を回り、その順位を競います。

セコムはこれらの競技を支援するとともに、高品質なサービスで大会の安全な運営をサポートします。



2017  
SAPPORO  
ASIAN WINTER  
GAMES

SECOM

オフィシャルスポンサー



馬術競技



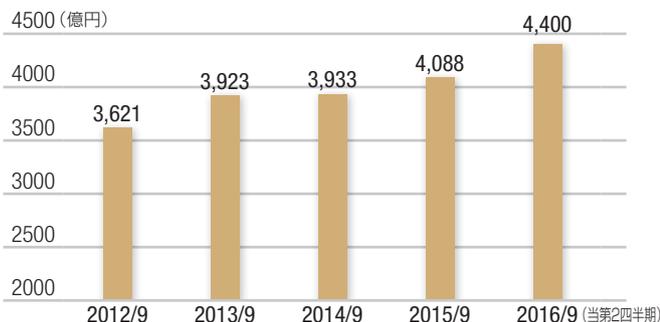
セーリング競技

©JSAF

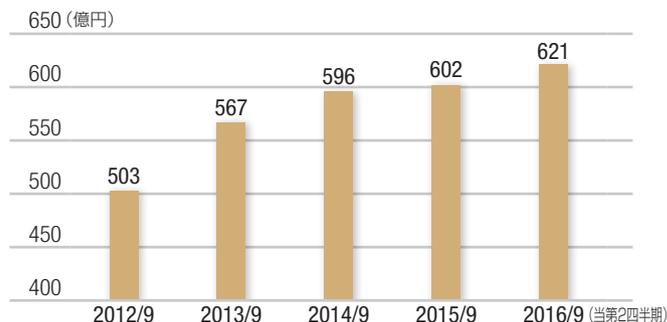
# Review

## 連結決算 業績ハイライト — 第2四半期累計

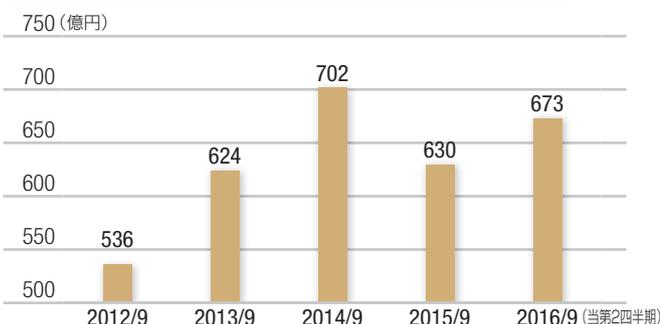
### ● 売上高



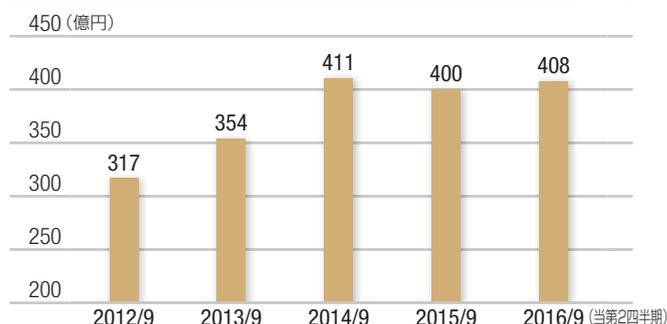
### ● 営業利益



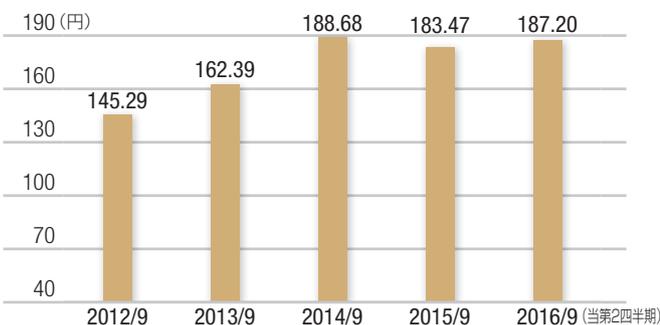
### ● 経常利益



### ● 親会社株主に帰属する四半期純利益



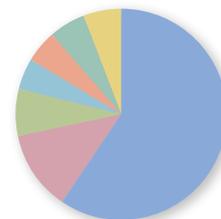
### ● 1株当たり四半期純利益



### ● 事業別売上高内訳 2016/9 (当第2四半期)

(億円)

● セキュリティサービス事業	2,622	59.6%
● 防災事業	531	12.1%
● メディカルサービス事業	326	7.4%
● 保険事業	201	4.6%
● 地理情報サービス事業	219	5.0%
● 情報通信事業	241	5.5%
● 不動産・その他の事業	257	5.8%



# 連結貸借対照表(要旨) — 第2四半期末

2016年9月30日現在

(単位: 億円) \*注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部		流動資産	6,846
		現金及び預金	2,705
		現金護送業務用現金及び預金	1,249
		受取手形及び売掛金	856
		未収契約料	319
		有価証券	291
		リース債権及びリース投資資産	390
		たな卸資産	402
		販売用不動産	262
		繰延税金資産	137
		短期貸付金	45
		その他	185
		<b>固定資産</b>	<b>8,521</b>
		<b>有形固定資産</b>	<b>3,746</b>
		建物及び構築物	1,458
		警報機器及び設備	726
		土地	1,170
		その他	390
		<b>無形固定資産</b>	<b>1,166</b>
		<b>投資その他の資産</b>	<b>3,608</b>
		投資有価証券	2,440
		長期貸付金	392
		退職給付に係る資産	302
		繰延税金資産	102
		その他	369
		<b>繰延資産</b>	<b>0</b>
		<b>資産合計</b>	<b>15,367</b>

負債の部		流動負債	3,087
		支払手形及び買掛金	359
		短期借入金	319
		一年以内償還予定社債	23
		未払金	301
		未払法人税等	211
		現金護送業務用預り金	1,036
		前受契約料	308
		その他	525
		<b>固定負債</b>	<b>2,765</b>
		社債	75
		長期借入金	171
		預り保証金	341
		退職給付に係る負債	225
		保険契約準備金	1,628
		その他	321
		<b>負債合計</b>	<b>5,852</b>
		<b>株主資本</b>	<b>8,424</b>
		資本金	663
		資本剰余金	803
		利益剰余金	7,694
		自己株式	△737
		<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△33</b>
		<b>非支配株主持分</b>	<b>1,123</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>9,514</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>15,367</b>

## 純資産の部

## 連結損益計算書(要旨) — 第2四半期累計

〈単位：億円〉 ＊注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

	当第2四半期累計 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)	前第2四半期累計 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	増減率
売上高	4,400	4,088	7.6%
売上原価	2,918	2,699	
<b>売上総利益</b>	<b>1,482</b>	<b>1,389</b>	<b>6.6%</b>
販売費及び一般管理費	860	787	
<b>営業利益</b>	<b>621</b>	<b>602</b>	<b>3.2%</b>
営業外収益	83	48	
営業外費用	31	20	
<b>経常利益</b>	<b>673</b>	<b>630</b>	<b>6.8%</b>
特別利益	1	8	
特別損失	7	2	
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>667</b>	<b>636</b>	<b>4.8%</b>
法人税、住民税及び事業税	210	190	
法人税等調整額	10	9	
<b>四半期純利益</b>	<b>446</b>	<b>436</b>	<b>2.2%</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	36	
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>408</b>	<b>400</b>	<b>2.0%</b>

### ● 営業の概況(連結)

当第2四半期連結累計期間における売上高は4,400億円(前年同期比7.6%増)、営業利益は621億円(前年同期比3.2%増)、経常利益は673億円(前年同期比6.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は408億円(前年同期比2.0%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益は過去最高を達成することができました。

〈参考〉

- 連結子会社数 178社
- 持分法適用関連会社数 22社
- 1株当たり四半期純利益 187円20銭

# Profile

## ● 会社概要

### セコム株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-5-1

Tel: 03-5775-8100

Fax: 03-5775-8902

● 資本金 66,377百万円

● 社員数(グループ総数)

57,957名(2016年3月31日現在)

● 事業内容

1962年、日本初の警備保障会社として創立。

1966年に日本で初めて開発したオンラインによる安全システムは、今では家庭や店舗、オフィスビル、金融機関、大規模商業施設などさまざまな施設に普及しています。

2001年からは、移動する人物・車両向けの新たなセキュリティサービスを開始したほか、常駐警備システムや現金護送システムの提供、各種安全商品などの販売を通じて、社会に「安全・安心」を提供しています。

セコムグループは、社会にとって「安全・安心・快適・便利」なサービスやシステムを次々に創造し、それらを統合化・融合化して、トータルな新しい社会システムとして提供する「社会システム産業」の構築を目指しています。

### 取締役(2016年11月30日現在)

取締役(最高顧問) 飯田 亮

代表取締役社長 中山泰男

常務取締役 中山潤三

常務取締役 吉田保幸

取締役 泉田達也

取締役 尾関一郎

取締役 栗原達司

取締役(社外) 廣瀬篁治\*

取締役(社外) 河野博文\*

取締役(社外) 渡邊 元\*

### 監査役(2016年11月30日現在)

監査役(常勤) 伊東孝之

監査役(常勤) 小松良平

監査役(社外) 加藤秀樹\*

監査役(社外) 関家憲一\*

監査役(社外) 安田 信\*

\*印の6名を独立役員として東京証券取引所に届け出ております。

### 執行役員(2016年11月30日現在)

代表取締役社長 中山泰男

常務取締役 中山潤三

常務取締役 吉田保幸

常務執行役員 古川顕一

常務執行役員 布施達朗

常務執行役員 竹田正弘

常務執行役員 吉村輝壽

常務執行役員 森下秀生

常務執行役員 小松崎常夫

常務執行役員 水野都飽

常務執行役員 石村昇吉

取締役 泉田達也

取締役 尾関一郎

取締役 栗原達司

執行役員 杉本陽一

執行役員 福満純幸

執行役員 進藤健輔

執行役員 桑原靖文

執行役員 福岡規行

執行役員 赤木 猛

執行役員 佐藤貞宏

執行役員 上田 理

執行役員 山中善紀

執行役員 長尾誠也

執行役員 植松則行

執行役員 永井 修

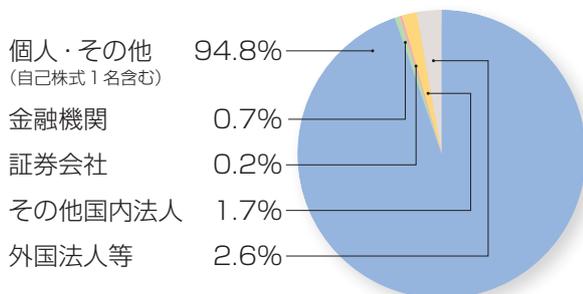
執行役員 小松 淳

# Information

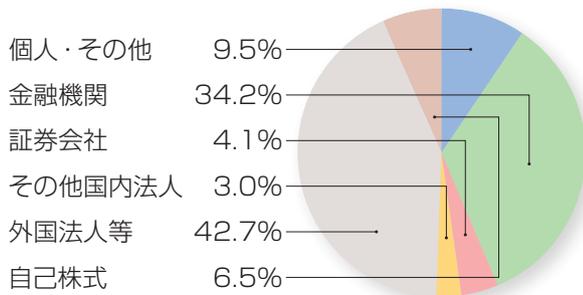
## ● 株式の状況 (2016年9月30日現在)

1. 発行可能株式総数 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 233,288,717株
3. 単元株式数 100株
4. 株主数 25,581名
5. 所有者別状況

### ● 株主数比率



### ● 株式数比率



## 表紙写真のご説明

### ウェアラブル カメラ システム

巡回警備員が右胸にウェアラブルカメラを装着することで、重要場面のライブ映像を警備本部に送信、迅速での確な対応を可能にします。東京国際空港ターミナル(株)様では、巡回警備員にウェアラブルカメラを装着した実証実験を今年4月から行ってきましたが、効果が実証されたため、正式に導入していただきました。



## ● 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日
- 株主優待制度 毎年3月31日現在における当社株式100株以上保有の株主様に、当社グループで利用可能な優待券を贈呈。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 9735
- 公告方法 電子公告  
<http://www.secom.co.jp/koukoku/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

## ● 株式に関する各種お手続きについて

- 証券会社に口座がある株主様は… 口座がある証券会社へお問い合わせください。
- 特別口座に記録されている株式の株主様は… 下記の特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行(株)へお問い合わせください。
- 未払い配当金のお支払いに関するお問い合わせは… 下記の株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行(株)で承ります。

株主名簿管理人・特別口座管理機関

### 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081  
東京都江東区東砂7丁目10番11号  
☎0120-232-711  
[平日9:00~17:00]

株式お手続き用紙のご請求  
☎0120-244-479 [音声 自動応答]  
●インターネットからのダウンロード  
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



本誌は環境に配慮し、FSC® 認証紙および植物性インキを使用しています。